

ミッション・価値・目標設定シート(MVTシート)

様式2-1

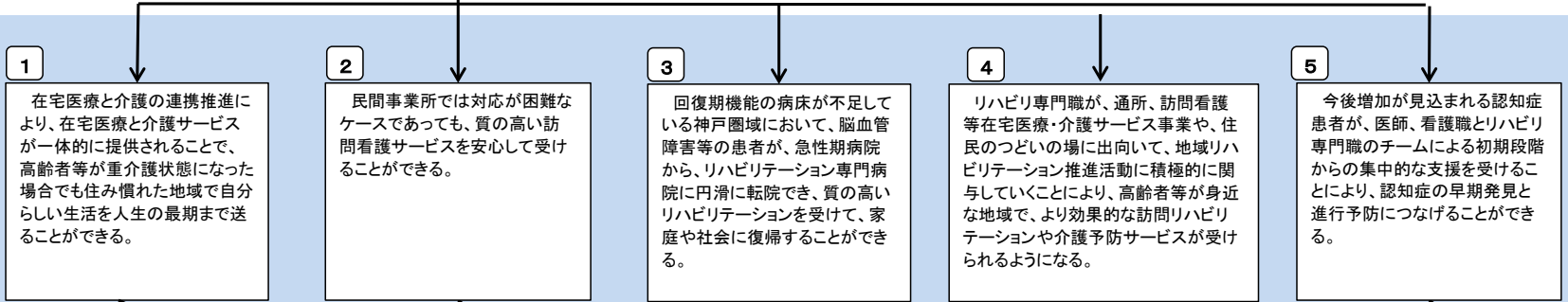
○基本情報

	記載日	平成27年10月5日
団体名	一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団	所管局名 保健福祉局
設立目的	在宅あるいは地域社会における高齢者等を対象としたケアの在り方やシステムについて調査研究を行うとともに、各種の在宅ケア事業や施設運営の実践により、市民福祉の向上に寄与する。	

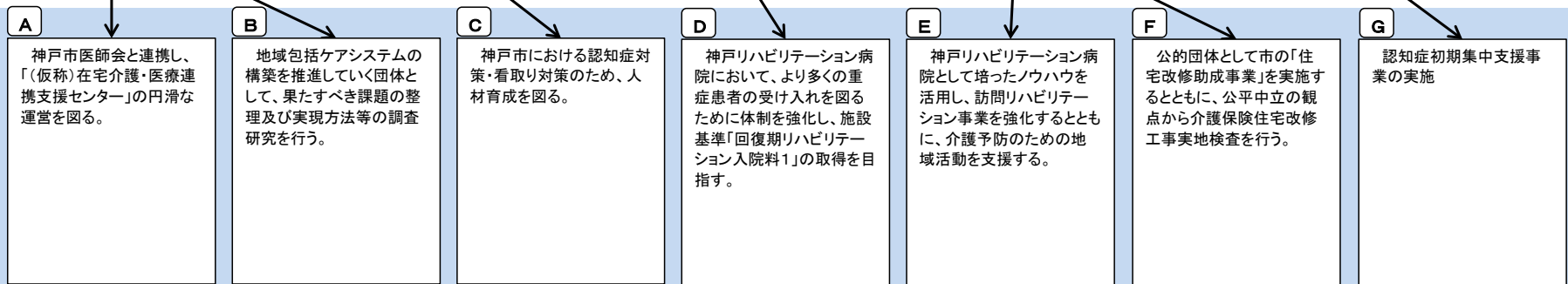
M 市民団体の使命 Mission

長期	本市における、地域包括ケアシステム構築の推進団体として、地域包括ケアを支える人材の確保と育成を行い、在宅医療と介護の連携、介護予防の観点からの地域リハビリテーションの推進や認知症・「看取り」対策の強化を図る。
5年	<ol style="list-style-type: none"> H28から設置予定の「(仮称)在宅医療・介護連携支援センター」の市医師会との共同運営 多職種と協働し、在宅医療と介護のコーディネートができる質の高い訪問看護師等の確保、認知症・「看取り」対応等機能強化(小児、難病を含む) 市民病院群との連携による神戸リハビリテーション病院の安定的な運営と重症患者の受入れ リハビリ専門職を活用した地域リハビリテーションの推進による介護予防の取組強化や住宅改修による在宅生活維持の取り組み強化 認知症初期集中支援事業の実施 <p>【2020ビジョン及び部門別計画等との関わり】 【ビジョン(4)安全・安心な地域づくり】の地域医療体制の充実と医療介護連携の推進について、神戸リハビリテーション病院と在宅医療・介護連携支援センター事業で推進</p>

V 市民に提供する価値 Value



T 事業目標 Target



平成29年度 ミッションの達成評価シート1

様式2-2

		記載日	平成30年8月24日
団体名	一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団	所管局名	保健福祉局

○団体による自己評価[1次評価]

ミッションNo.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 8)
H29事業目標	神戸市より委託を受けて、北区を除く8区の医療介護サポートセンターに配置するコーディネーターを14名確保し、養成・研修・活動支援業務を引き続き行う。平成29年度は、灘区、兵庫区、長田区、須磨区、西区の5区にコーディネーターを確保・配置し、養成及び立ち上げ支援を行う。また、全区の本格稼働に向けて、全コーディネーターを対象とした養成研修を行う。		
H29実績評価	神戸市より委託を受けて、北区を除く8区の医療介護サポートセンターにコーディネーターを計14名確保し、養成・研修・活動支援業務を行った。平成29年度は、新たに灘区、兵庫区、長田区、須磨区、西区にコーディネーターを確保すると共に、全コーディネーターを対象とした研修を実施した。		評価
			S (A) B C
H30事業目標	神戸市より委託を受けて、北区を除く8区の医療介護サポートセンターに配置するコーディネーターを14名確保し、養成・研修・活動支援業務を引き続き行う。また、北区についても地域の医療機関と連携しながら、全コーディネーターを対象とした養成研修のほか、市民啓発を兼ねた医療介護関係者向けのシンポジウムを行う。		
評価担当者	総務部長 原 秀樹		

ミッションNo.	1-B	主要事業(様式1-3)との関わり	なし
H29事業目標	神戸市における地域包括ケアシステムの構築に向けて、フレイル予防など老年医学等を専門とする講師を招いてシンポジウムを神戸市と共催し、今後の地域におけるフレイル対策等について課題を確認する。 また、神戸市から委託を受けて、介護老人保健施設の医療的機能を活用した在宅療養における後方支援の可能性等について、調査・研究を行う。		
H29実績評価	・平成29年11月16日(木)17:00～ ANA クラウンプラザホテル 神戸市との共催により、神戸市地域包括ケア推進部会講演会として東京大学高齢社会総合研究機構教授の飯島 勝矢先生を招き、フレイル予防に関する講演会を開催した。 ・神戸市から委託を受けて、介護老人保健施設の医療的機能を活用した在宅療養における「かかりつけ」機能の有用性について、神戸介護老人保健施設協会の協力を得てアンケート調査を行った。		評価
			S (A) B C
H30事業目標	平成30年度は神戸市の認知症対策において、認知症の方への支援体制の中心となる認知症サポート医の他、地域で認知症の支援にあたる医療・介護従事者を対象に講演会を開催する。内容としては、認知症高齢者等の支援体制における認知症サポート医やかかりつけ医の役割等について、関係者が共に学ぶ機会とする。		
評価担当者	総務部長 原 秀樹		

平成29年度 ミッションの達成評価シート1

様式2-2

		記載日	平成30年8月24日
団体名	一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団	所管局名	保健福祉局

○団体による自己評価[1次評価]

ミッションNo.	2-C	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 6)
H29事業目標	平成29年度は、訪問看護における重度の認知症や精神疾患等の困難事例、がん化学療法等をテーマとした全体研修を6回実施する他、各ステーションでは、地域性やサービスの利用形態に応じた特色ある研修会を予定している。特に西部ステーションにおいては、デスクカンファレンスを実施し、看取りに関わる人材の育成に取り組む。		
H29実績評価	訪問看護師等人材育成 平成29年度実績 1. 全体研修 6回 ①がん化学療法、②救急看護、③小児リハビリ、④困難事例、⑤虐待 ⑥合同実践発表研修(テーマ「フレイル」) 2. 各ステーション 褥瘡や栄養に関する研修会の他、西部ステーションにおいては、看取り後のデスクカンファレンスを開催し、看取りに関わる人材育成に取り組んだ。		評価
			S A B C
H30事業目標	平成30年度は、全体研修において、認知症や高齢者虐待、看取り・ターミナルについて研修会を開催するほか、コンチネンスケア(排せつケア)に関する外部の講師を招き講演会を行う。(計5回) また、各ステーションにおいては、引き続き地域やサービスの利用状況に応じた特色ある研修会を実施し、人材の育成を図る。		
評価担当者	総務部長 原 秀樹		

ミッションNo.	3-D	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 3)
H29事業目標	2階病棟及び3階病棟において、回復期リハビリテーション病棟入院料1を継続して算定するため、脳血管疾患等の重症患者の積極的な受入れと在宅復帰率の向上を図り、重症患者割合30%以上、在宅復帰率70%以上等の実績の確保に取り組む。		
H29実績評価	2階病棟及び3階病棟において、重症患者の積極的な受入れと在宅復帰の向上を図り、回復期リハビリテーション病棟入院料1の基準となる重症患者割合30%以上、在宅復帰率70%以上を確保し、同入院料1を継続して算定することができた。		評価
			S A B C
H30事業目標	診療報酬改定により、回復期リハビリテーション病棟入院料が3区分から6区分に再編され、リハビリテーションによる改善の実績指数が組み込まれた。2階及び3階病棟において、新たな入院料1を算定するため、脳血管疾患等の重症患者の積極的な受入れと在宅復帰率の向上を図り、重症患者割合30%以上、在宅復帰率70%以上に加え、リハビリテーションによる改善の実績指数37点以上を確保する。		
評価担当者	総務部長 原 秀樹		

平成29年度 ミッションの達成評価シート1

様式2-2

		記載日	平成30年8月24日
団体名	一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団	所管局名	保健福祉局

○団体による自己評価[1次評価]

ミッションNo.	4-E	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 6)
H29事業目標	訪問リハビリテーションについては、引き続き積極的に取り組み、前年実績を確保する。また、地域リハビリテーション活動の支援については、リハビリ3職種の職能団体が中心となり、リハビリ専門職の派遣体制の構築や地域で活躍できる人材育成等を目的とする協議会を設立する。		
H29実績評価	訪問リハビリテーションにおいては、年間の延べ訪問回数が8,936件で前年を上回ることができた。(前年比+609件、7%増) また、地域リハビリテーション活動の支援に向けて、リハビリ3職種の職能団体と連携し、神戸市域における地域リハビリテーション活動の拠点として、平成29年7月に設立した「神戸市リハ職種地域支援協議会」の立ち上げを支援した。		評価
			S A B C
H30事業目標	訪問リハビリテーションについては、引き続き、前年実績を確保できるよう取り組む。また、神戸市の地域リハビリテーション活動の拠点として昨年に発足した神戸市リハ職種地域支援協議会の運営や派遣セラピストの育成等を支援する。その他、介護予防におけるフレイル対策として、神戸市より委託を受けて、フレイルトレーナーやフレイルサポーターの養成・研修の他、キックオフ講演会を開催し、フレイルチェックを実施する。		
評価担当者	総務部長 原 秀樹		

ミッションNo.	4-F	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 9)
H29事業目標	高齢者及び障害者のための住宅改修について、専門チームによる訪問相談及び改修費用の助成・貸付に関する業務を神戸市より委託を受けて実施する。また、介護保険住宅改修工事実地調査を年間約50件実施する。		
H29実績評価	神戸市より委託を受けて、高齢者及び障害者のための「住宅改修助成事業」において、専門チームによる訪問相談及び改修費用の助成・貸付に関する業務を471件実施した。また、改修工事の適正化を図るため、各区からの依頼に基づき、介護保険住宅改修工事実地調査を29件実施した。		評価
			S A B C
H30事業目標	平成30年度は引き続き、神戸市より委託を受けて住宅改修助成事業における訪問相談及び審査業務等を実施する。また、介護保険住宅改修工事実地調査を年間約50件実施する。なお、助成制度の変更についてその対応策を検討し、神戸市との協議を進めていく。		
評価担当者	総務部長 原 秀樹		

平成29年度 ミッションの達成評価シート1

様式2-2

		記載日	平成30年8月24日
団体名	一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団	所管局名	保健福祉局

○団体による自己評価[1次評価]

ミッションNo.	5-G	主要事業(様式1-3)との関わり	なし
H29事業目標	<p>神戸市より委託を受けて認知症初期集中支援事業を行う。平成29年度は、コーディネーター等の人員を確保し体制を構築するとともに、以前から実施されている東灘区、中央区、長田区について、8月以降、財団へ移行する。また、新たに垂水区で9月から実施するほか、残りの区についても、神戸市と調整のうえ、順に開始し全区での実施を目指す。</p>		
H29実績評価	<p>神戸市より委託を受けて認知症初期集中支援事業を行った。平成29年度は、8月に中央区、9月に垂水区、10月に東灘区と長田区で開始し、以降は2月に兵庫区と灘区、3月には残りの須磨区、西区及び北区で開始し、目標としていた全区で実施することができた。</p>		評価
			<p>S A B C</p>
H30事業目標	<p>神戸市より委託を受けて引き続き、認知症初期集中支援事業を全区で実施する。平成30年度は認知症初期集中支援チームの活動を広く普及・啓発するため、あんしんすこやかセンターが行う地域ケア会議や連絡会のほか、神戸市ケアマネジャー連絡会等へ積極的に参加し、新たな相談者を医療介護へ繋げていく。</p>		
評価担当者	総務部長 原 秀樹		

平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年8月31日
団体名	一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団 (旧在宅ケア研究所)	所管局名	保健福祉局

○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	<p>【ミッション毎の評価】</p> <p>1 ……評価A (上記評価の理由) 平成29年度から設置した灘区、兵庫区、長田区、須磨区、西区の10名を含め、計14名のコーディネーターを確保するとともに、全コーディネーターを対象とした研修・活動支援を行い、医療介護サポートセンターの円滑な運営を行った。また、神戸市地域包括ケア推進部会講演会としてフレイル予防に関する講演を医療・介護にかかる事業所及び専門職向けに開催したため、評価Aとした。</p> <p>2 ……評価A (上記評価の理由) 訪問看護サービス向上のための人材育成施策として、全体研修を目標回数より多く実施できたため、評価Aとした。</p> <p>3 ……評価A (上記評価の理由) 2階病棟及び3階病棟において、重症患者の積極的な受入れと在宅復帰の向上を図り、回復期リハビリテーション病棟入院料1の基準となる重症患者割合30%以上、在宅復帰率70%以上を確保するとともに、同入院料1を継続して算定できたため、評価Aとした。</p> <p>4 ……評価A (上記評価の理由) 地域リハビリテーション活動により、地域における介護予防の取組みを機能強化するため、神戸市域の活動拠点となる「神戸市リハ職種地域支援協議会」の立ち上げを支援し、地域支援・介護予防研修やフォーラムを行った。また、訪問リハビリテーションについて、訪問回数が8,936件で対前年比7%増を達成したことに加えて、本市からの委託により、「住宅改修助成事業」を適正に実施したため、評価Aとした。</p> <p>5 ……評価B (上記評価の理由) 本市からの委託で、初期集中支援事業の全区実施を目標にしていたが、北区は年度内には、実質的には活動を開始することができなかった。また、チーム員医師の初期集中支援事業に対する専門性の均一化が課題となっており評価Bとした。</p> <p>【総合評価の理由】 H29年度に掲げた事業目標について、一部を除き、基準としていた数値を達成していると判断したため、評価Aとした。</p>	総合評価
		<p>S</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p>
対応方法		
(総合評価がB又はCの場合は必ず記載)		
評価担当者	地域医療課長 三和田 智子	